

6月 絵本であそぼ！

■ 1歳児

絵本『ももんちゃんぽっぽー』

空っぽにしたリュックサックを背負って遠足に出かけました。温泉の裏山の道にはたくさん背の高いあじさいが咲いていました。保育士が抱っこすると、指先でそっと触ったり、カニを見つけると、じーっと見つめた後、興味を持って“ちょん”と触れていました。沢に着くと、冷たい山のお水を両手ですくって心地良さを感じながら、また歩き始めました。

そして広場に出るとももんちゃんが登場し、一緒に絵本『ももんちゃんぽっぽー』のごっこ遊びをしました。絵本の内容を覚えていて「しゅっしゅっぽっぽ、ぽっぽー！」とももんちゃんと一緒に電車ごっこをして帰り道もごきげんに歩いていた子どもたちでした。



絵本「こぐまちゃんのみずあそび」

6月に読んだ絵本『こぐまちゃんのみずあそび』を使ってあそびました。絵本を読み終わった後に、子どもたちがお面をかぶってしろくまちゃんになっていると…窓を「コンコン」と叩く音がしました。「あなたはだあれ？」と聞いてみると「こんにちは！」の声と共にこぐまちゃんがあそびにきてくれました。「こんにちは」「あそぼ」ととっても嬉しそうにお話してくれました。こぐまちゃんが「お水をいっぱい持ってきたけど一緒に遊んでくれる？」と尋ねると、「うん」と答えた子どもたち。新聞紙をお水に見立ててかけ合ったり、布に乗せて飛ばしたりして遊びました。隣のお部屋にいくと新聞紙がいっぱい入ったプールを見つけ、「わあ〜」と大喜びでプールの中に入って身体をいっぱい動かして遊びました。絵本を通して子どもたちと一緒に雨の日も身体をいっぱい動かして楽しみました。

● 2歳児

絵本『ころんちゃんはだんごむし』

だんごむしのころちゃんは、生きていく中で敵に狙われることもあります。ころちゃんが、狙われるのをドキドキしながら見ている子ども達ですが、ころちゃんはすばやく丸くなって身を守りまる姿をみてホッとし「ころちゃんすごい」と喜んでいきます。ころちゃんは大きくなる度に皮も脱ぎます。そんなだんご虫の生態が描かれている絵本です。子ども達も丸くなるだんご虫が面白い様で捕まえると指で挟んで丸めようとします。リズムでも「♪だだだだんご虫〜」と歌いながらだんご虫になりきって楽しんでいきます。本物のだんご虫も絵本のころちゃんもどちらも大好きな子ども達です。

だんご虫のころちゃんとアジサイの森を探検

絵本『10ぴきのかえる』を読んで、オタマジャクシから足と手が生えて「ケロケロ」「ぴよんぴよん」とかえるになりきっているところへだんご虫のころちゃんが、「あじさいの森へいきたい」とやってきたので連れて行ってあげることにしました。何度かあじさいの森を探検している子ども達は、「こっちばい」と道案内もとっても上手です。道を渡るときに飛び出してしまったころちゃんにも「あぶないよ」と三本指のお約束を教えてくださいました。

あじさいの森ではあじさいを眺めていると花の中にクモやイモムシの赤ちゃんなど色んな生き物を発見し、「なにこれ?」「なんかいる」と不思議そうに眺めていました。カニのすみかでは、不思議な卵のようなものを発見。「何かのたまごかな?」というところから「かえるのたまご!」と子ども達。さっそく園に持ち帰り、その後も「たまご生まれた?」「何のたまご?」と子ども達は時々思い出しては虫かごの中の不思議な物を見ている。

途中でかたつむりさんに出逢い一緒にかけっこしました。ゆっくりゆっくりしか進めないかたつむりさんに「ガンバレ〜」と大きな声で応援してくれた子ども達でした。ザリガニさんとは縄跳びをして遊びました。へびのようにニョロニョロ動く縄を両足でジャンプするのも上手になってきましたよ。たくさん探検して、ちょっと疲れてきていたようでしたが、「お弁当食べるよ」というと力が湧いてきて元気に歩いてくれました。やっぱり愛情たっぷりのお弁当の力はすごいですね。



◆3歳児 絵本『ばったのびよんこちゃん』

●氷砂糖を下さい



りんごさん・ぶどうぐみさんから「梅ジュースを作るためには氷砂糖がいるよ」と教えてもらい氷砂糖を探していました。散歩先で出会ったちょうちょさんから「温泉広場にいるカエルさんに氷砂糖をもらったよ」と言う話を聞いて、みんなで出かけました。

「ゲロゲロ…」と声が聞こえカエルさんがやってきました。少し驚きながらも勇気を出して「氷砂糖下さい」と言うと「みんなの歌を聞かせてほしい」とカエルさんからリクエストがあったので♪初めての「おとまり」の歌を歌いました。素敵な声で歌うことができたのでカエルさんから氷砂糖をもらい子ども達もとても喜んでいました。

「氷砂糖ってどんな味だろう」とみんなで味見をしました。「あまーい」「おいしいね」「これで梅ジュースができるね」と子ども達もとても嬉しそうでした。

★梅ちぎりをしたよ

「お山においしい梅の木があるんだよ」と園長先生に教えてもらい、バスに乗ってみんなでとりに行きました。新幹線が通っているトンネルの近くで、そこにはたくさんの梅の木があり「いっ

ばいなってる」と子ども達も嬉しそうでした。少し高いところにある梅はコンテナの上に登って取ったり友だちが木を引っ張って取りやすいようにしたりとみんなで協力しながらたくさん収穫しました。「はやく梅ジュースつくりたい」と子ども達も大喜びでした。

■梅ジュース作り

お泊りに向けての梅ジュース作りでは、お母さん達と作ることを楽しみにしていた子ども達！！当日は一緒に梅のへたを取って穴をあけて作ることができて子ども達もとても嬉しそうでした。ご参加くださりありがとうございました。その後毎日「氷砂糖がとけてきた！」「ジュースがたまってきたよ」と覗き込んだり、他のクラスの先生やお友達にも「これね梅ジュース。お泊りの日に飲むんだよ」と教えたり、皆で「おいしくなーれー」の魔法の言葉を唱えたりしながらお泊りの日を待ちわびています。

